

令和7年度

富士宮市下水道事業の業務状況説明書

自 令和7年10月
至 令和8年 3月

水道部 下水道課

目 次

令和7年度	富士宮市下水道事業の概況	……………	1
令和7年度	富士宮市下水道事業会計収支状況		
	収益的収入及び支出（収入）	……………	2
	（支出）	……………	3
	資本的収入及び支出（収入）	……………	4
	（支出）	……………	5
令和7年度	月別水洗化率及び有収率	……………	6
令和8年度	富士宮市下水道事業会計予算概要		
	収益的収入及び支出（収入）	……………	7
	（支出）	……………	8
	資本的収入及び支出（収入）	……………	9
	（支出）	……………	10
令和8年度	富士宮市下水道事業の経営方針	……………	11

令和7年度 富士宮市下水道事業の概況

令和7年度は、下水道施設の適切な維持管理を行うとともに、管渠整備及び終末処理場の設備更新事業を実施し、雨水の排除及び汚水の適正な処理に努めました。

1 処理状況について

公共下水道事業は 9,104,496 立方メートル、農業集落排水事業では 13,379 立方メートルを適正に処理しました。

2 営業状況について

本年度の下水道事業収益は 20 億 6,030 万 4,582 円(消費税抜き)、下水道事業費用は 18 億 7,022 万 5,400 円(消費税抜き)となり、損益収支で 1 億 9,007 万 9,182 円の純利益を得ることができました。

3 工事の概要

本年度は、汚水事業として、アクションプランによる小泉・大中里地区の管渠整備を重点的に推進するとともに、ストックマネジメント計画による星山浄化センター設備更新工事を実施しました。

雨水事業では、内水解析業務を実施しました。

令和7年度 富士宮市下水道事業会計収支状況
収益的収入及び支出
(収 入)

(単位 円)

区 分 科 目	予 算 現 額	調 定 額	執行率	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	備 考
1 下水道事業収益	2,131,493,000	2,133,253,486	100.1%	1,760,486	(調定額のうち仮受消費税及び地方消費税以下「消費税」という。 73,044,333)
1 営業収益	967,564,000	969,050,668	100.2%	1,486,668	(消費税 73,042,787)
1 下水道使用料	801,973,000	803,470,668	100.2%	1,497,668	(消費税 73,042,787)
2 他会計負担金	165,410,000	165,410,000	100.0%	0	
3 その他営業収益	181,000	170,000	93.9%	△ 11,000	
2 営業外収益	1,163,927,000	1,164,202,818	100.0%	275,818	(消費税 1,546)
1 受取利息及び配当金	1,000	0	0.0%	△ 1,000	
2 他会計負担金	607,487,000	607,487,000	100.0%	0	
3 国庫(県)補助金	10,000,000	10,000,000	100.0%	0	
4 長期前受金戻入	545,870,000	546,105,171	100.0%	235,171	
5 雑収益	569,000	610,647	107.3%	41,647	(消費税 1,546)
3 特別利益	2,000	0	0.0%	△ 2,000	
1 固定資産売却益	1,000	0	0.0%	△ 1,000	
2 過年度損益修正	1,000	0	0.0%	△ 1,000	

(支 出)

(単位 円)

区 分 科 目	予 算 現 額	執 行 額	執 行 率	予 算 残 額	備 考
1 下水道事業費用	2,002,649,000	1,913,081,578	95.5%	89,567,422	(執行額のうち仮払消費税及び地方消費税以下「消費税」という。 52,067,006)
1 営業費用	1,884,661,000	1,828,346,606	97.0%	56,314,394	(消費税 52,061,450)
1 管 渠 費	90,251,000	77,143,543	85.5%	13,107,457	(消費税 6,487,064)
2 処 理 場 費	532,257,000	503,691,443	94.6%	28,565,557	(消費税 44,888,555)
3 普 及 指 導 費	25,873,000	25,521,035	98.6%	351,965	(消費税 158,173)
4 総 係 費	118,130,000	116,149,158	98.3%	1,980,842	(消費税 518,658)
5 雨 水 渠 費	100,000	99,000	99.0%	1,000	(消費税 9,000)
6 減 価 償 却 費	1,113,035,000	1,105,728,327	99.3%	7,306,673	
7 資 産 減 耗 費	5,000,000	0	0.0%	5,000,000	
8 その他営業費用	15,000	14,100	94.0%	900	
2 営業外費用	97,677,000	84,673,846	86.7%	13,003,154	
1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	87,466,000	84,363,453	96.5%	3,102,547	
2 雑 支 出	211,000	41,793	19.8%	169,207	
3 消 費 税	10,000,000	268,600	2.7%	9,731,400	
3 特 別 損 失	211,000	61,126	29.0%	149,874	(消費税 5,556)
1 固 定 資 産 売 却 益	1,000	0	0.0%	1,000	
2 過 年 度 損 益 損 修 正 損	210,000	61,126	29.1%	148,874	(消費税 5,556)
4 予 備 費	20,100,000	0	0.0%	20,100,000	
1 予 備 費	20,100,000	0	0.0%	20,100,000	

資本的収入及び支出
(収 入)

(単位 円)

区 分 科 目	予 算 現 額	調 定 額	執行率	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	備 考
1 資 本 的 収 入	571,158,000	492,940,514	86.3%	△ 78,217,486	
1 企 業 債	309,800,000	269,500,000	87.0%	△ 40,300,000	
1 企 業 債	309,800,000	269,500,000	87.0%	△ 40,300,000	
2 出 資 金	97,560,000	97,560,000	100.0%	0	
1 他 会 計 出 資 金	97,560,000	97,560,000	100.0%	0	
3 分 担 金 及 び 負 担 金	6,237,000	5,620,514	90.1%	△ 616,486	
1 分 担 金	407,000	0	0.0%	△ 407,000	
2 負 担 金	5,830,000	5,620,514	96.4%	△ 209,486	
4 国 庫 (県) 補 助 金	157,560,000	120,260,000	76.3%	△ 37,300,000	
1 国 庫 (県) 補 助 金	157,560,000	120,260,000	76.3%	△ 37,300,000	
5 固 定 資 産 売 却 代 金	1,000	0	0.0%	△ 1,000	
1 固 定 資 産 売 却 代 金	1,000	0	0.0%	△ 1,000	

(支 出)

(単位 円)

区 分 科 目	予算現額	執行額	執行率	予算残額	備 考
1 資本的支出	1,264,755,000	1,138,615,961	90.0%	126,139,039	(執行額のうち仮払消費税及び地方消費税以下「消費税」という。 41,667,445)
1 建設改良費	638,616,000	512,478,688	80.2%	126,137,312	(消費税 41,667,445)
1 1 污水管渠整備費	573,044,000	448,839,958	78.3%	124,204,042	(消費税 36,918,001)
2 雨水渠整備費	50,745,000	50,360,259	99.2%	384,741	(消費税 4,574,553)
3 処理場整備費	7,335,000	5,932,188	80.9%	1,402,812	(消費税 34,705)
4 受益者負担金 徴収業務費	6,492,000	6,431,083	99.1%	60,917	(消費税 56,986)
5 固定資産購入費	1,000,000	915,200	91.5%	84,800	(消費税 83,200)
2 企業債償還金	626,139,000	626,137,273	99.9%	1,727	
1 企業債償還金	626,139,000	626,137,273	99.9%	1,727	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額645,675,447円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額30,193,883円、過年度分損益勘定留保資金24,244,000円、当年度分損益勘定留保資金536,618,156円、減債積立金54,619,408円で補填した。

令和7年度 月別水洗化率及び有収率

1 公共下水道事業

月 別 区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処理区域内人口 (人)	69,211	69,300	69,282	69,234	69,178	68,640
水洗化人口 (人)	61,524	61,439	61,367	61,336	61,343	61,378
水洗化率 (%)	88.89	88.66	88.58	88.59	88.67	89.42
処理水量 (m ³)	—	1,510,158	—	1,441,362	—	1,338,602
有収水量 (m ³)	—	1,132,190	—	1,153,131	—	1,154,991
有収率 (%)	—	75.0	—	80.0	—	86.3

※有収水量について使用料調定は隔月でそれに基づいて算出するため、2か月にまとめて記載する。

2 農業集落排水事業

月 別 区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処理区域内人口 (人)	109	109	109	109	109	107
水洗化人口 (人)	109	109	109	109	109	107
水洗化率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
処理水量 (m ³)	2,246	—	2,187	—	2,015	—
有収水量 (m ³)	2,548	—	2,392	—	2,558	—
有収率 (%)	113.4	—	109.4	—	126.9	—

※有収水量について使用料調定は隔月でそれに基づいて算出するため、2か月ごとに記載する。

令和8年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

収益的収入及び支出

(収 入)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1 下水道事業収益			2,125,926	100.0
	1 営業収益		967,590	45.5
		1 下水道使用料	803,248	37.8
		2 他会計負担金	164,266	7.7
		3 その他営業収益	76	0.0
	2 営業外収益		1,158,334	54.5
		1 受取利息及び配当金	1	0.0
		2 他会計負担金	591,152	27.8
		3 国庫(県)補助金	20,850	1.0
		4 長期前受金戻入	545,762	25.7
		5 雑収益	569	0.0
	3 特別利益		2	0.0
		1 固定資産売却益	1	0.0
		2 過年度損益修正益	1	0.0

令和8年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

(支 出)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1	下水道事業費用		2,088,793	100.0
	1	営業費用	1,974,422	94.5
		1 管 渠 費	98,624	4.7
		2 処 理 場 費	598,252	28.6
		3 普 及 指 導 費	26,539	1.3
		4 総 係 費	132,777	6.4
		5 減 価 償 却 費	1,113,222	53.3
		6 資 産 減 耗 費	5,000	0.2
		7 その他営業費用	8	0.0
	2	営業外費用	94,060	4.5
		1 支 払 利 息 及 び 企業債取扱諸費	81,849	3.9
		2 雑 支 出	211	0.0
		3 消 費 税	12,000	0.6
	3	特別損失	211	0.0
		1 固 定 資 産 売 却 損	1	0.0
		2 過 年 度 損 益 修 正 損	210	0.0
	4	予 備 費	20,100	1.0
		1 予 備 費	20,100	1.0

令和8年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

資本的収入及び支出

(収 入)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1 資本的収入			574,826	100.0
	1 企業債		324,900	56.5
		1 企業債	324,900	56.5
	2 出資金		79,541	13.8
		1 他会計出資金	79,541	13.8
	3 分担金及び 負担金		11,334	2.0
		1 分担金	407	0.1
		2 負担金	10,927	1.9
	4 国庫(県) 補助金		159,050	27.7
		1 国庫(県)補助金	159,050	27.7
	5 固定資産 売却代金		1	0.0
		1 固定資産売却代金	1	0.0

令和8年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

(支 出)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1 資本的支出			1,275,699	100.0
	1 建設改良費		670,616	52.6
		1 汚水管渠整備費	508,328	39.8
		2 雨水渠整備費	21,223	1.7
		3 処理場整備費	133,514	10.5
		4 受益者負担金徴収業務費	6,551	0.5
		5 固定資産購入費	1,000	0.1
	2 企業債償還金		605,083	47.4
		1 企業債償還金	605,083	47.4

令和8年度 富士宮市下水道事業の経営方針

令和8年度は、下水道施設の適切な維持管理、管渠等の整備を引き続き推進し、雨水の排除及び汚水の適正な処理に努めます。

1 処理状況について

下水道事業の経営の基本となる業務の予定量について、公共下水道事業は年間総処理水量 10,148,899 立方メートル、農業集落排水事業では年間総処理水量 15,580 立方メートルと見込み、適正な処理に努めます。

2 営業状況について

本年度は、下水道事業収益 20 億 5,290 万 1,969 円(消費税抜き)、下水道事業費用 20 億 2,547 万 709 円(消費税抜き)と見込み、公営企業としてコスト意識を持った事業執行に努めます。

3 工事の概要

本年度は、汚水事業として、アクションプランによる小泉、大中里地区の管渠整備を重点的に推進するとともに、ストックマネジメント計画による星山浄化センター中央監視設備更新工事を実施します。

雨水事業では、雨水管理総合計画の策定を目指し、業務を実施します。